



## 2013年 JSID's Fellowship SHISEIDO Award(資生堂賞) 受賞者ご紹介

2013年JSID's Fellowship SHISEIDO Award受賞者2名の先生をご紹介いたします  
(五十音順)。

本Award授与式は、日本研究皮膚科学会第39回年次学術大会・総会(大阪)にて開催します  
(2014年12月12日(金)15:05~15:25、ホテル阪急エキスポパーク RoomA(オービットホール))

本研究のご成果については、日本研究皮膚科学会年次学術大会にてポスター発表していた  
だく予定です。

ご 芳 名：大日 輝記 先生 / Teruki Dainichi, M.D., Ph.D.

ご 所 属：京都大学大学院皮膚科学

Department of Dermatology, Kyoto University  
Graduate School of Medicine

研究テーマ：表皮の分化と重層化を制御する上位シグナルの解明

Molecular cues for asymmetric cell division in epidermis



ご 略 歴：1996年 3月 徳島大学医学部医学科卒業

1996年 3月 徳島大学大学院医学研究科入学(寄生虫学)

1999年 1月 日本学術振興会特別研究員(DC2)

2001年 2月 徳島大学大学院医学研究科修了

2001年 3月 九州大学医学部附属病院医員(皮膚科)

2002年 5月 国家公務員共済組合連合会浜の町病院(皮膚科)

2003年 4月 長崎県離島医療圏組合中対馬病院(皮膚科)

2005年 4月 九州大学病院病院助手(皮膚科)

2006年 4月 九州大学病院助手(皮膚科)

2007年 4月 久留米大学医学部講師(皮膚科学)

2009年 6月 コロンビア大学ポストドクトラルリサーチサイエンティスト(微生物学免疫学)

2012年 1月 コロンビア大学アソシエイトリサーチサイエンティスト(微生物学免疫学)

2013年 1月 京都大学大学院講師(皮膚科学)

受賞のご感想：

日本研究皮膚科学会資生堂賞(JSID's Fellowship SHISEIDO Award)の受賞者に選ばれました  
ことをたいへん光栄に思います。株式会社資生堂、日本研究皮膚科学会ならびに選考委員の先生方に  
感謝申し上げます。この賞をいただきました2013年を持ちまして、日本研究皮膚科学会に入会して丸  
10年になります。この学会では実に多くの先生方から影響を受け、また育てていただきました。今回の  
受賞を激励と受け止め、与えられた環境で自らの意志を信じて進んで参りたいと思います。





## 2013年 JSID's Fellowship SHISEIDO Award(資生堂賞) 受賞者ご紹介

ご 芳 名：山上 淳先生 / Jun Yamagami, M.D., Ph.D.

ご 所 属：慶應義塾大学医学部皮膚科学教室

Department of Dermatology, Keio University School of  
Medicine



研究テーマ：天疱瘡における自己反応性B細胞の活性化機構の解明  
Activation mechanism of autoreactive B cells in  
pemphigus.

ご 略 歴：1998年 3月 慶應義塾大学医学部卒業

1998年 4月 慶應義塾大学医学部皮膚科研修医

2000年 7月 静岡市立清水病院皮膚科医員

2003年 7月 慶應義塾大学医学部皮膚科助手

2005年 4月 慶應義塾大学大学院医学研究科皮膚科学専攻

2007年 3月 米国ペンシルバニア大学皮膚科訪問研究員

2010年 4月 慶應義塾大学医学部皮膚科助教

2014年 4月 慶應義塾大学医学部皮膚科専任講師(学部内)

受賞のご感想：

JSID's Fellowship SHISEIDO Awardをいただき、誠にありがとうございます。資生堂および日本研究皮膚科学会の関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。天疱瘡の診療に携わる多くの皮膚科医が抱える「なぜ患者さんの体内で自己抗体が産生されるのか？」という疑問の解決に一步でも近づけるように、自己反応性B細胞の活性化機構の解明に全力を尽くしたいと思います。今回の受賞をきっかけに、患者さんの診療に生かされる研究、日本の皮膚科学の発展につながる研究をめざしたいという気持ちがますます強くなりました。